



十日町 Tokamachi

市議会だより

市民と議会の
ネットワーク

平成25年7月25日発行

■発行 十日町市議会 十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3111 FAX.025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp TEL.025-757-3119 (直通)

■編集 議会だより編集委員会

No.36



笹山縄文カレッジ「みんなで掘る笹山遺跡」発掘体験（7/13撮影）

Contents

今号の内容

- ▶ 一般質問(13人) 2~8
- ▶ 常任委員会審査結果 8
- ▶ 議決結果 9
- ▶ 補正予算と主な事業 10~11
- ▶ 議会日誌・永年勤続表彰 11
- ▶ 会派通信 12~13
- ▶ 平成24年度政務調査費報告 13
- ▶ 議会人事・議会傍聴 14



笹山じょうもん市2013で第9次発掘調査の展示
（笹山縄文館6/2撮影）

十日町市の産業育成について



小嶋 武夫 議員

質問1 産業とは市外から外貨

を稼いでくることが基本と考えます。農産物の売り上げは、農協だけで100億を超えたとの報告を聞いています。コメ、キ

ノコ、養豚などで発生する廃棄物は大切な資源でもあります。堆肥化して農地に還元し、循環型農業の確立により、安全・安心な農産物を全国に売り出すことを一刻も早く実現すべきと考えますが、いかがか。

答弁1

家畜ふん、廃菌床、もみ殻などのバイオマス資源を堆肥化し農地に還元することで循環型農業を確立し、安全・安心

質問2

節約と削減だけでは十日町市は疲弊するだけです。頑張っている企業の育成に力を入れ、外貨を稼いでもらい税収を上げることで豊かな十日町市に

答弁2

市外から企業を誘致することの難しさは、日々感じています。現在は市内で頑張っている事業者に軸足を置き、事業の拡大、設備投資、雇用の増加を促す施策などを重点的に行っています。地域経済を振興するための企業支援や、道路、福祉施設などの投資を積極的に実施してきました。この4年間で13社を対象に支援を行い、約43億円の設備投資と132人の雇用が創出されました。今後も地域の雇用を支える事業所や起業家

を支援し、外貨獲得につながる取組みを続けていきます。

施設内部で二次発酵中の堆肥（魚沼市有機センター）

重大な副反応多発の子宮頸がん予防ワクチンについて



大嶋由紀子 議員

質問1 重大な副反応が多発し

ている子宮頸がん予防ワクチンですが、このような状況の中で、十日町市は無料化し、任意接種のときよりも積極的に勧めてき

ました。しかしこうした事態を受け、厚労省はようやく推奨中止しましたが、引き続き定期接種として位置づけたままとしています。この矛盾した状態に対し、十日町市はどう対応していくのか伺う。

答弁1

子宮頸がん予防ワクチンについての今後の考え方に關するご質問ですが、このワクチンは、今年4月に予防接種法に

よる定期予防接種に位置づけられました。これにより市町村長には予防接種を勧奨する責務が生じます。しかし、大嶋議員もご指摘のとおり、持続的な痛みを訴える重篤な副反応が報告されたことから、厚労省では2つの専門家会議を開き、積極的な勧奨を控えるという決定をしました。そこで、市としてはその決定に従い、直ちに市内の医療機関に情報提供を行いました。

また、市民に対しては、市報等を通じて周知するとともに、今後国の方針を注視し速やかな対応に努めていく考えです。

質問2 厚労省は、このワクチンは新しいため、その予防効果はまだ証明されていないとしています。その中で積極的な勧奨はしないとしながらも接種そのものは中止していません。そこで、保護者としてはどうするべきなのか伺う。

答弁2

国が定期接種としたということは、やはり効果があると認めていると思います。リスクを検証したいとのこと、今回の措置になったと聞いています。この問題は専門的な知見を持った方がタイムリーかつスピーディーに対応していること

から、これをしっかりと注視していくことが大事だと考えています。



市内病院の安定的運営と タブレット端末の導入について



村山達也 議員

め、県教育委員会が検討中の「医療専攻コース」を市内の高校へ誘致する考えはないか伺う。

答弁1 高校の医療専攻コースは、医療関係の大学や養成施設に進みたい生徒に対し、求められる責任感や倫理観などを育て、希望に応じた進学指導を行うもので、看護師等の国家試験の受験資格を得られるものではありません。平成27年度に開院予定

質問1 十日町病院及び松代病院などの医療機関や介護施設の人材不足解消・安定的な運営のため、そして子どもたちに「よりよい教育」を受けてもらうた

め、県教育委員会が検討中の「医療専攻コース」を市内の高校へ誘致する考えはないか伺う。

の魚沼基幹病院は、看護師確保も課題であることから、県教委では魚沼医療圏の県立高校のいずれかにこのコースの設置を検討しています。市としては圏域内の高校であれば、ほくほく線などで通学が可能であることから、いずれの高校でも設置は喜ばしいことと考えています。

答弁2 当市も電子自治体を推進する中で、高速情報通信網の整備や各種手続きの電子申請化などに取り組んできました。市役所内においても庁内LANによるデータの共有化など、これも他市に先駆けて進めてきました。タブレット端末の有益性は認識しており、建設課など幾つかの課で既に活用しています。今後については、議会関係での活用を含め、市民サービスの向上や業務の効率化と費用対効果を検討するとともに、セキュリティの課題に関する検討も進めたいと考えています。



手軽にインターネットができる
タブレット端末

市職員の地域及び 集落担当制度の導入を



小野嶋哲雄 議員

質問1 ①合併から8年が経過し、慣れ親しんだ役場は本庁に機能統合され、支所は職員の減少と若返り等もあり「周辺地域・集落住民」との信頼関係が希薄

になったように見受けられます。合併のデメリットについての考えを伺う。②行政コストの削減管理が優先され直接的な住民との接点が減少し、地域や集落の実態に対する職員の理解が薄れてはいないか。③現状の行政の業務実態についての認識はどうか。④モデル地域を指定し「職員の地域・集落担当制度」を実施してみる考えはないか伺う。

答弁1 ①その時々々の課題を大きく捉え、今はどの方向にすべきかを議論する中で、その方針を決定して進めていくのが政治です。合併にはいいところも悪いところもあると思いますが、私たちは合併することを選択したわけで、できるだけデメリットを少なくしていくよう、議員の皆さんとも議論する中で解決していくのがいいのではないかと考えています。②職員が周辺地域の実態についてどの程度把握しているかですが、支所の職員と話をしますと、地域の課題や成果について、担当者はしつ

かり認識していると感じています。③職員のデスクワークが多くなっているのではないかとこの質問ですが、職種にもよりますが、外に出向いて自分の目でしっかりと現実を見て、その上で私に提案し、事業を執行している職員はむしろ増えていると感じています。かなり変わってきているのではないかと思います。④集落担当制のメリットですが、例えば振興会さえも組織できないところもあります。どちらかといえば、議員もいない、アパートばかりの都市化が進んだような地域でこそメリットがある

と思っており、振興会等、地縁組織がまだしっかりしている十日町市の現状からは、現下のやり方で十分対応できていると感じています。



2人の支所職員も出席して開かれた
松代中部地区振興会役員会

指定管理者制度

人にやさしいまちづくり



羽鳥輝子 議員

質問1 指定管理者制度導入後の現状と問題点、運用ガイドラインの策定と第三者による外部評価の取組みについて伺う。

導入し、利用者は23年度実績で延べ125万人となっています。効果については、情報館の例では開館時間を延長し、休館日を減らすなどして市民サービスの拡充を図っています。一方で利用者が減少傾向の施設もあり、老朽化も含め管理運営について重要な問題と認識しています。運用のガイドラインについては、これに代わるものとして指

定管理者と市の責任分担を明確にしたリスク分担表を作っています。外部評価については、必要性は認識しつつも導入には至っていませんが、今年度第三セクターの経営診断を予定しています。

質問2 人にやさしいまちづくりについて ①高齢者が地域で暮らし続けるために、包括支援センターの役割がますます重要で、機能強化を図るためどのような対応を促進しているのか ②法改正で障がい者の地域移行が進められ、ケアプランの作成が義務付けられました。どのよ



「あおぞら」の休日余暇支援活動

うな対応をされているのか。

市総合計画と新十日町病院の早期完成、松代病院の充実を！



村山邦一 議員

質問1 市政運営上の羅針盤は中間年に入った。そこで、①市長2期目のスタートに当たり、総合計画での取組みは。②実施計画は見直しすることになって

いるが、市民要望、意見などをごのようにするのか。③長期財政指針と併せて地方債見込み、財政指標の推計は。

質問2 新十日町病院改築は、県予算3億530万円が計上され、着工予定となりました。①十日町病院・松代病院の診療科や医師、看護師の現状は。②シンポジウムや地元説明会での意見、要望は。③中核病院としての十日町病院、松代病院の役割、将来の展望等を伺う。

答弁1 ①平成27年度までの市政運営の羅針盤として策定した後期基本計画を着実に推進し、各施策の充実に取り組みます。②お聞きしたご意見、総合計画に関する市民アンケートの結果なども参考に、実施計画に



2月に県の主催で開かれた「地域医療シンポジウム」

反映したいと思います。③今年度の長期財政指針はまだ作成していませんので、地方債の見込み、また財政指標の推計は不明ですが、起債制限比率は改善していくと思います。

答弁2 ①現在十日町病院の診療科は12科で、常勤医師は24名、非常勤医師が13名、そして看護師はパートを含めて177名です。松代病院の診療科は3科で常勤医師は4名、うち産休医師が1名です。非常勤医師は3名、そして看護師はパートを含めて34名です。

②新十日町病院の運営主体に関する質問や、ヘリポート設置についての質問があり、工事期間中の通学の安全確保への配慮を望む要望がありました。

③松代病院は、松代、松之山地域の医療を守るために必要な病院です。新十日町病院と松代病

再編された地域自治組織への 評価と課題について



高橋 俊一 議員

質問1 昨年度各地域協議会を解散し、新たな13の地域自治組織として再編され、それぞれに市から総額6、600万円の交付金が配分されることになりました。

した。①その地域自治組織の1年間の活動実績に対しての評価と、交付金の有効性についての見解を伺う。②各自治組織の自主性、公平性を重視するばかりでなく、組織の適正化に向けて、③さらには地域間連携に向けての、市の配慮による仕組みづくりが必要ではないか。④そして、地域自治組織と市議会との関連性を明確にすべきではないか。

答弁1 ①この交付金は、地域の新しい財源であり、地域にとつて手探りの初年度ではなかったかと推測しております。一方で、果敢にチャレンジをする姿勢を示された地域もありました。各組織の取組みを紹介した実施事業事例集を作成しましたので、今後の参考にしていただければと考えています。交付金の効果の検証は、最初の1年が終わったばかりであり、交付金の効果の検証はこれからと考えています。②地域自治組織は地域自らの判断と、そして責任により活動する組織であり、地域

が必要と判断した活動内容への客観的評価や、また地域の実情が大きく左右する役員構成に一律の基準を設けることは、適当ではないと思います。③地域間の交流による全市の活性化というのは大変重要な観点だと思えます。パワーアップ事業交付金の申請について、地域連携の促進を後押しできますように柔軟かつ前向きに検討します。④地域自治組織は自主、自立の組織であるため、市では、地域自治組織と市議会、市議会議員の皆さまとの関連性や位置付けなどについて、統一的な考え方を示す必要があります。

H25 地域自治組織一覧

地 域 名	組 織 の 名 称	振興会等の数	行政区・集落数	活 動 拠 点
十 日 町	十日町地域振興連合会	7	63	中央公民館
高 山	高山地区振興会	1	14	高山コミュニティセンター
西 部	十日町西部地区振興会	1	16	西部会館
川治・六箇	十日町南地域自治振興会	14	46	川治公民館
中条・飛渡	中条飛渡地域協議会	2	31	中条公民館
大 井 田	大井田地区振興会	1	14	大井田コミュニティセンター
下 条	下条地区振興会	1	27	下条公民館
吉 田	吉田地域自治振興会	1	17	吉田公民館
水 沢	水沢地区振興会	1	43	水沢公民館
川 西	川西地域振興会	4	49	川西支所地域振興課内
中 里	中里地域まちづくり協議会	7	42	中里支所地域振興課内
松 代	まつだいの地域振興会	1	36	松代支所地域振興課内
松 之 山	松之山自治振興会	6	35	松之山支所地域振興課内

500人体制に向けた取組みと 北陸新幹線の対応について



藤 巻 誠 議員

質問1 ①市職員500人体制に向けた今後の取組みについて
②保育所の臨時職員が3分の2を超えています、この状況をどう認識し改善していくのか。

③3年目を迎えた大卒事務支援員の評価と今後の見通しは。
答弁1 ①平成27年度に職員数を500人へという目標については、今年度、来年度の退職者等の状況を見た中で、達成できると思っています。
②通常保育における保育士の配置状況としては、通常範囲だと思えます。また、臨時職員であっても保育士を可能な限り配置

しており、適正な保育が十分できていると認識しております。
③事務支援員は正職員の代替として、実際の職場における評価もおおむね期待しております。少なくとも職員500人体制ができるまでこの制度を継続したいと思えます。
質問2 北陸新幹線開業に係るほくほく線と飯山線について、①「上越妙高駅」への乗り入れの見通し②はくたか廃止後の運行計画と営業の方向性について③飯山線のSL運行の見通しと行き違い設備などの改善について伺う。

答弁2 ①現時点では未定ですが、北越急行が対応策について、えちごトキめき鉄道と協議を進めているというふうに理解しています。
②北陸新幹線開業後のほくほく線の運行につきましては、北越急行の総合的な経営判断のもとに検討が進められていくものと考えます。
③十日町市域、SL運行に限定せず、沿線の観光資源と鉄道を活用した商品化、また地域全体の魅力向上策などを検討し、沿線自治体、関係団体との調整を進めてまいりたいと考えています。



元気いっぱい遊ぶ保育園児たち

耕作放棄地対策で 若者雇用の拡大を！



宮沢 幸子 議員

解消を図るため再生利用の緊急対策事業を進めていますが、当市の対応を伺う。

質問1 農業従事者の高齢化と後継者不在、農作物価格の低迷などの影響を受け、耕作放棄地の増加は深刻化しています。その対策として農水省では、早期

答弁1 耕作放棄地の解消については、平成21年2月に十日町市耕作放棄地対策協議会を設立し、再生利用及び拡大防止等を目的に、農業関係機関と検討、協議を行ってきました。また、平成21年度から耕作放棄地の解消を希望する農業団体に対

しまして、農林水産省の耕作放棄地再生利用緊急対策事業をあっせんし、平成24年度までの4年間で約14・4ヘクタールの耕作放棄地の解消を行ってきています。市としても、独自の支援策として、立ち木等、障害物の除去、また整地作業等の農地再生作業に対して上乗せ補助を行っており、耕作放棄地の解消を重点施策として位置付ける中で、取り組みを行ってきています。

質問2 雇用の場が求められている当市に帰ってきたくとも仕事場がない現状の中で、誰も耕さない農地があります。この状態を結び付けて効果的な政策を展開し、意欲ある若者が定住する政策を強く推進すべきと考えますがいかがか。

耕作放棄地解消実績

年度	地区名	取組み団体名	解消面積
H21	馬場地区	馬場共同機械利用組合	1.86ha
H22	馬場地区	馬場共同機械利用組合	4.11ha
H23	仁田地区ほか	特産作物開発プロジェクト ほか	5.97ha
H24	伊達地区ほか	黒沢栗生産組合 ほか	2.42ha
累 計 解 消 面 積			14.36ha

「アベノミクス」をどうみるか 国保会計の抜本的改革を



安 保 寿 隆 議員

質問1 ①日銀がお金を増発し、安倍首相は公共事業に10年間で200兆円も使うと言っている。景気回復できるかその見通しは。②消費税5%増税、年金

切り下げ、国保や介護保険改悪等で1世帯当たり50万円もの負担増となります。市民の暮らしを応援すること、本格的な産業振興を目指して産業フェアの開催、「産業経済振興基本計画」と目標の策定が必要では。

答弁1 ①今までは方向が大きく変わったと感じています。不況と物価上昇を突破するため政策であり、解決に向けた方

策に期待しています。
②新商品の開発支援などの補助制度、ビジネスコンテストを行って、市民から相談や提案を受けています。また、産業フェアは具体的にいう方向ではありませんが、産業フェスタの中で相談会、提案会が組めるようであれば議論したいと思っています。産業経済の振興計画は、総合計画の中にもあり、今のところ見直し等により、新たにすることは考えていません。

質問2 ①「税金の滞納許しません」のビラに「権力の乱用」「脅迫状まがい」という市民の怒りの声が寄せられている。どんな対応を考えているか。②国保税引き下げのため国の負担率引き上げ、一般会計からの繰り入れが必要ではないか。

国民健康保険被保険者数の推移

項目 年度	市総世帯数	市総人口(人)	国保世帯数	被保険者数(人)	世帯加入率(%)	被保険者加入率(%)
H24	20,106	58,470	8,883	15,883	44.18	27.16
H23	20,048	58,491	9,091	16,538	45.35	28.27
H22	20,019	59,746	9,225	17,021	46.08	28.49

※ 各年度とも3月31日現在の数値

の繰り入れは、状況を見ながら予算案として計上していきたいと思っています。

再生可能エネルギーについて



仲嶋 英雄 議員

質問1 十日町の良いところを生かしてまちづくりを進めていくには、財務体質の改善が必要です。①まず農業ですが、新潟と言えば食です。小水力発電が

あります。具体的な戦略はあるのか。②織物を中心とした製造業に対する戦略はあるのか。③観光業では、松代・松之山の温泉は観光資源であるが、バイナリ―地熱発電の管理課題はあるのか。④宮中ダム維持流量を利用した発電はどうか。⑤宮中ダム周辺の公園の話が出ているが、再生可能エネルギー発電公園はどうか。

答弁1

①J R 千手発電所の放水路の利用については、県の調査によれば高低差もないことなどから実現は難しいと考えていますが、吉田地区の鏡島地域流末排水路の農業用水を利用した小水力発電については、今年度概略設計を行い、施設規模などの検討を行っていく予定です。また、農業への活用などの利用方法について、積極的な検討を行いたいと考えています。

②再生可能エネルギーの導入については、行政などによる支援がないと普及は難しいのではないかと思います。今後、事業者は、通常総代会で「断固反対」の特別決議をしています。こうした動きに呼応していただきた

の要望を把握し、再生可能エネルギー等を活用した経費削減の取組みなどへの支援を検討したいと考えています。

③実証試験の推移を常に把握しながら、実用化可能という見込みが出てきたら、この発電施設をどのような形で活用するかについて、関係機関、また温泉関係者の皆さまとともに協議をしていきたいと考えています。

④多くの課題が考えられることから、現時点では放流水を利用するの発電については、その実現は難しいと考えています。

⑤宮中ダム周辺でJ Rさんと一

TPP推進の「強い農業」では地域農業を守れない



鈴木 和雄 議員

質問1 ①国が進める「強い農業」は、大規模化と担い手の絞り込みで、TPPに対応するための農業を目指しているのは明白です。こうした下で、「人・

農地プラン」をどのように進めていくのか伺う。②新たな農業の可能性に向け、市独自の農政の指針となる農業基本条例策定を検討していただきたい。③直売所は大きな広がりを見せています。6次産業との連携で農業に励んでいける環境づくりを。④TPP参加による影響は、政府統一試算でも農業は壊滅的ダメージを受けます。JA十日町

答弁1

①現在、地域別に5プラン作成していますが、今後集落単位のきめの細かいプランを作成するため、地域の説明会、全体説明会等を開催したいと考えています。

②十日町市全体における農業産業、食の安全という観点、そして農村、農作地のあり方など、基本的なことをしっかりと市民が理解を共有していく必要もあると思いますので、どういう形

がいいのか、勉強したいと思っています。

③民間主導でされている、そういったことが本当に大事だと思います。地域の皆さんが頑張っている組織などもできておりますので、そういう皆さんにどれだけやっていただけるか、そうした皆さんを応援するシステムづくりがまず必要かと思っています。

④画一的な考え方、また、机上でいうところもありますので、危ない部分、そうしたものを現場からしっかりと訴えていきたいと思っています。



プラン作成に向け地域別に開かれた「人・農地プラン」説明会



山梨県北杜市の小水力発電施設

地域福祉計画について



太田 祐子 議員

質問1 「ともに支え合いみんなが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを目指して」を基本理念として地域福祉計画が策定された。この実現に向けてお

むね小学校区単位で「地区社会福祉会」の設置を促すべきと提案します。

答弁1 現在も地区ごとに主体的な取組みが進められております。地域福祉活動計画におきましても具体的な拡大目標は設定していませんが、地区社会福祉会の設立ということだけでなく、地域の実情に応じた地域福祉活動へのご支援、また連携が大切

であると考えています。

質問2 現在、在宅介護世帯は468世帯、要介護3以上は269世帯です。条件が厳しい中で懸命に在宅介護をされている世帯に対しての支援強化と拡大対策を進めるべきと考えるが、

答弁2 施設における介護支援として、地域密着型特別養護老人ホーム七川荘に29床の増床を計画しているところであり、自宅介護支援として、七川荘にはショートステイ10床を増床しますし、十日町市中心市街地拠点施設整備事業においてサービスつき高齢者住宅を39戸及びデイ

サービスセンターの整備を計画しています。さらに、在宅介護をされている世帯に対して、市独自のサービスの拡充について検討を進めたいと考えています。

質問3 在宅介護手当や訪問入浴サービス・訪問看護・訪問介護等についての市長のご見解を伺う。

答弁3 高齢者の皆さんはやはり家にいたいわけですから、それを支えている介護者の皆さんに、しっかりと報いられるように、しっかりと施策を展開していきたいと思っております。



訪問入浴の浴槽

常任委員会

TOKAMACHI

審査結果

提出された議案のうち、それぞれの常任委員会に付託され審査した議案と、その結果は次のとおりです。

6月定例会

総務文教常任委員会

◆十日町市職員の給与に関する



総務文教常任委員会での審査

条例の一部改正
原案どおり可決しました。

産業建設常任委員会

◆十日町市中小企業者向け融資に係る損失補償に関する条例の一部改正
原案どおり可決しました。

◇30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願
採択となりました。



産業建設常任委員会での審査

厚生環境常任委員会

今回は、付託された案件がありませんでした。



6月定例会議決結果

議案番号等	件名	採決状況	議決結果
市長提出議案	68 副市長の選任（村山 潤 氏）	賛成多数（投票）	同意
	69 工事請負契約の締結（市役所本庁舎・保健センター改修及び増築工事）	全員賛成	原案可決
	70 工事請負契約の締結（エコクリーンセンターごみ焼却施設基幹的設備改良工事）		
	71 工事委託契約の締結（下水処理センターの再構築工事〔その2〕委託）		
	72 十日町市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	賛成多数	原案可決
	73 十日町市中小企業者向け融資に係る損失補償に関する条例の一部を改正する条例制定	全員賛成	原案可決
	74 平成25年度十日町市一般会計補正予算（第2号）		
	75 平成25年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）		
	76 平成25年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）		
	77 平成25年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		
	78 平成25年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）		
	79 平成25年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		
	80 平成25年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第1号）		
議会提出議案	81 平成25年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）	全員賛成	原案可決
	82 平成25年度十日町市一般会計補正予算（第3号）		
	12 十日町市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙	全員賛成	選挙
	13 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙		
	14 十日町市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定		
	15 信濃川・清津川対策特別委員会の設置	全員賛成	原案可決
	16 十日町・松代病院特別委員会の設置		
	17 議会改革特別委員会の設置		
	18 信濃川・清津川対策特別委員会委員の指名	全員賛成	指名
	19 十日町・松代病院特別委員会委員の指名		
	20 議会改革特別委員会委員の指名		
	21 信濃川・清津川対策特別委員会委員長及び副委員長の選任報告	全員賛成	報告
	22 十日町・松代病院特別委員会委員長及び副委員長の選任報告		
	23 議会改革特別委員会委員長及び副委員長の選任報告		
請願	24 30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	全員賛成	原案可決
	25 閉会中の継続調査の申し出		
	26 議員派遣		
	3 30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願	全員賛成	採 択

賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。
（○：賛成、×：反対、－：欠席）※議長は議決に加わらず。

議案番号等	議決結果	賛成	反対	政策クラブ 自由の風										日本共産党 十日町市議団		不羈の会			三 矢 会			市民クラブ 凜			無 会 派			
				近藤紀夫	羽鳥輝子	庭野茂美	遠田延雄	吉村重敏	宮沢幸子	小林弘樹	藤巻誠	高橋俊一	福崎哲也	大嶋由紀子	村山邦一	安保寿隆	鈴木和雄	飯塚茂夫	仲嶋英雄	庭野政義	小嶋武夫	鈴木一郎	村山達也	太田祐子	小林均	小野嶋哲雄	涌井充	高橋洋一
72	原案可決	22	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

一般会計補正予算と主な事業

6月定例会

《補正第2号》

この補正は、人事異動に伴う人件費の調整のほか、国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を受けて平成24年度に前倒し計上したことにより、25年度予算との二重計上となった事業の減額、雪害等による災害復旧事業の追加などの補正を行ったものです。

《平成24年度に前倒し計上した事業の減額 9件》

○道路整備事業（建設課）

△3億1、160万円

○消雪パイプ修繕事業（建設課）

△1億1、314万円

○流雪溝整備事業（建設課）

△4、367万円

○消雪パイプ整備事業（建設課）

△9、426万円

○中心市街地活性化推進費（中心市街地活性化推進室）

△7、655万円

○都市環境整備事業（都市計画課）

△525万円

○公園整備事業（都市計画課）

△3、465万円

○小学校施設整備事業（教育総務課）

△6億5、236万円

○中学校施設整備事業（教育総務課）

△1億2千万円

《雪害等による災害復旧事業費の追加ほか 3件》

○現年発生林道施設災害復旧事業（松代支所農林建設課）

680万円

○現年発生農地農業用施設災害復旧事業（農林課）

1、239万円



雪の重みで屋根折板の一部が変形した川西「千寿さくら荘」



春の雪解け水で用水路の法面が崩落した現場（小出地内）

○現年発生その他公共施設・公用施設災害復旧費（財政課ほか）

1、150万円

○中里地域社会福祉施設改修事業（中里支所市民課）

1億4、268万円

・七川荘の増床とデイサービスセンター整備に伴う補助金の補正



特養増床部分とデイサービス施設の建設予定地（右隣は七川荘の現行建物）

○基金利子積立金（会計課）

・国債売却による運用益に係る基金利子積立金の追加

1億4、322万円

○私立保育所施設整備支援事業（子育て支援課）

・中条保育園改修工事に係る補助金の追加ほか

889万円

○病児・病後児保育事業（子育て支援課）

・十日町幼児園改修工事に係る補助金の追加

356万円

○地域中核病院周辺整備事業（地域中核病院建設推進室）

・設計管理委託料の追加ほか

350万円

○じん芥処理放射性物質対策事業（環境衛生課）

・焼却灰の県外運搬費用の追加

1、204万円

○一般土地改良事業（農林課）

・ため池ハザードマップ作成業務委託料の補正

1、734万円

○経営所得安定対策事業（農林課）

・政権交代に伴う新規事業の補正（事業内容は変更なく旧事業は9月補正で減額）

5、047万円

○松之山地域観光施設関連連費（松之山支所地域振興課）

・美人林保護管理計画策定事業に係る現況調査委託料等の補正

214万円

○小水力等再生可能エネルギー導入推進事業（農林課）
・概略設計支援事業委託料の補正
510万円



全国的に導入が進む小水力発電施設
(写真は山梨県都留市)

○大地の芸術祭運営事業（観光交流課）
・大地の芸術祭委託料の追加ほか
4,570万円

○大地の芸術祭受入対策事業（観光交流課）
・キナーレ誘客促進事業におけるアート企画展開催委託料の追加
500万円

○越後妻有・雪アート花火事業（観光交流課）
・雪アート花火事業実施委託料の追加
1千万円

○住宅リフォーム対策事業（都市計画課）
・住宅リフォーム補助金の追加
1千万円

○繰上償還金（財政課）
・特定被災地を対象とした高金利の起債の繰上償還
812万円

《補正第3号》

この補正は、追加議案として、水稲渇水対策や風しん対策などの緊急に対応が必要な事業について、追加補正を行い予算化したものです。

○農業被害対策事業（農林課）
・水稲渇水被害応急対策事業補



水不足によりひび割れた水田

助金の補正
200万円

○遺跡調査発掘事業（文化財課）
・中里地域の天尾山における遺跡調査管理支援・遺物整理作業委託料等の補正
1千万円



遺跡の発掘調査が始まった天尾山

○任意予防接種事業（健康支援課）
・風しん予防接種費用助成金等の補正
1,159万円



議会日誌

〔6月〕

- 6日・会派代表者会議
- 7日・議会運営委員会
14日～21日
- 14日・平成25年第2回定例会
- 14日・本会議（諸般の報告・議案審議）
- ・常任委員会正副委員長会議
- 17日～19日
- ・本会議（一般質問）
- 17日・会派代表者会議
- ・議会だより編集委員会
- 20日・総務文教常任委員会
- ・産業建設常任委員会
- ・議会運営委員会
- 21日・本会議（常任委員長報告・追加議案審議）
- ・全員協議会

永年勤続表彰

去る4月4日、富山市で開催された第88回北信越市議会議長会定期総会、及び5月22日東京で開催された第89回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続表彰を受けました。

◎在職10年以上表彰

鈴木 一郎 議員



4月の改選により、新たに結成された議員の会派について紹介します。

今回は初回ということで全5会派について、その概要を

①活動方針

②重点的取組み項目

③会派構成員

の3つの項目で紹介します。
次回以降は、会派ごとに活動状況を報告します。

政策クラブ

自由の風

①活動方針

十日町市議会議員として、議員の資質と政策立案能力向上のため、活発な議論と積極的な政策提案を行います。市政の発展に貢献する政策集団として、市民目線に立った自由と民主的な政治活動を実践し、かつ個々の政治理念と活動を尊重した、開

かれた政策集団としての活動を行っていきます。

②重点的取組み項目

- 一、経済・雇用対策の推進と産業及び起業支援
- 二、中山間地農業の確立と生産物の付加価値の研究
- 三、県立十日町病院の改築に伴う機能強化と松代病院の存続をはじめとする地域医療の充実・発展に向けた活動
- 四、議会改革の研究と推進
- 五、信濃川と清津川の水問題に対する取組み
- 六、2014年問題への対策としての、ほくほく線と飯山線の活性化と利用促進策の研究
- 七、子育て支援、学校給食の地産地消推進と食育教育の充実

③会派長

近藤 紀夫
羽鳥 輝子
庭野 茂美
遠田 延雄
吉村 重敏
宮沢 幸子
小林 弘樹
藤巻 誠
高橋 俊一
福崎 哲也
大嶋 由紀子

日本共産党

十日町市議団

①活動方針

安全で安心して暮らし続けられるまちづくりを活動の指針にしています。

東京電力福島第一原発事故は、2年が経過した今でも収束していません。「原発ゼロ」の政治決断を求めます。同時に、雪国という特殊性を考慮した実効性ある避難計画を求めます。

また、社会保障の充実が景気回復の大きな力にもなります。

市民の暮らしを守る経済対策に力を注ぎます。そして、アベノミクスやTPP、消費税増税や社会保障改悪など国政にハッキリものを言わなければ、地域も暮らしも守れません。市民の切実な願いを市政に届け、その活動の様子をお知らせします。

②重点的取組み項目

- 一、県立十日町病院の早期建設と松代病院の充実強化を含めた医療環境の整備
- 二、地域産業、自然エネルギー活用で仕事づくりと雇用の拡大を図る内需循環型経済を目指す「(仮)産業振興条例」制

定への取組み

- 三、多様な担い手が農業に励むことのできる環境づくりと、きめ細やかな支援で中山間地農業を振興
- 四、社会保障制度である国保・介護・保育環境の整備充実
- 五、いじめ・不登校解消などに向けた教育環境の充実
- 六、市民目線に立った、信濃川・清津川の水環境対策

③会派長

村山 邦一
安 保 寿 隆
鈴木 和 雄

不羈の会

①活動方針

議会は首長とともに自治体運営の車の両輪です。主権者としての市民の意思を、市民に代わり市政運営・行財政に反映させるため、市民の利害に関わる重要な施策などを決定し、その執行を監視します。そして、不当な点があれば修正させるなどの機能を持っています。

したがって、市民の目線に立つて要望を的確に把握し、これを政策に反映させることを基本に、ムダを省いて、行政サービス

ス向上のため、効率良く税金が使われているかチェック機能を強めていきます。

また、伝統や慣習にとらわれず、常に前向きな姿勢で調査・研究に努め、行政と市民をつなぐコーディネーターの役割を担うべく取り組んでいきます。

②重点的取組み項目

- 一、新十日町病院の早期完成
 - 二、高規格道路の整備促進
 - 三、災害復旧と農業基盤の整備
 - 四、産業振興と雇用の場の確保
 - 五、少子高齢化対策の充実
- これらの施策を重点に、安心して暮らせるまちづくりを推進します。

③会派長

飯塚 茂夫
仲 嶋 英雄
庭野 政義

三矢会

①活動方針

全市民的な視野に立ち、民意を大切にするという民主主義の原点を大切にし、市民の願いをカタチにしていくことを使命と考えます。先進自治体やモデル事業の視察等を含め、日々の自己

研さんに努め、会員相互の和をもつて活動を行います。

②重点的取組み項目

経済の活性化なくして福祉や教育の充実、生活環境の整備は難しいと考えます。市内の各産業・企業が元氣を取り戻し、従事者である市民の多くがそれを実感できるような取組みを推進し、市民にやさしい《強い十日町市》を目指します。

③会派長

小嶋武夫
鈴木一郎
村山達也

市民クラブ 凛

①活動方針

私たちは、議員として品位を保ち資質を向上させるため、さまざまな問題に真摯に立ち向かい、毅然とした態度で臨むため、会派名を凛としました。国はアベノミクスで変わろうとしています。国の経済成長が地方に及ぶにはまだ時間がかかります。少子高齢化や人口減少が広がる問題とされている中、私たちの住んでいる地域は農家の後継者問題や経済の疲弊等、大きな問題を抱えています。そのため私たちの会派は、地域住民との対話の機会を多くつくり、地域の問題を発掘し、一緒に解決策を見つけ行動する集団を目指します。

②重点的取組み項目

一、病院問題、松代病院や地域医療機関との連携、周辺環境問題
二、J R、信濃川問題、信濃川の自然環境、J Rと市民との共生
三、議会改革、開かれた議会、委員会の活性化
四、中心市街地活性化認定後の対応
その他、堆肥センター、行財政改革、雪対策等問題が多岐にわたっています。一つずつ視察や研修を通じ解決策を考え続けていきます。

③会派長

太田祐子
小林均
小野嶋哲雄

■会派に所属していない議員

涌井充議員
川田一幸議員
高橋洋一議員

H24年度 政務調査費報告

政務調査費は、

十日町市議会議員の調査研究に必要な経費の一部として、申請のあった会派に対し市から交付されます。

会派に所属する議員1人につき年額15万円を、人数分一括で会派に交付し残金が生じた場合は市に返還されます。

平成24年度（平成24年4月～平成25年3月交付分を掲載）

単位：円

会派		政策クラブ かけはし 9人	不羈の会 6人	日本共産党 十日町市議団 4人	新政会 5人	妻有クラブ 3人	信江クラブ 3人	合計
項目								
当初交付金額		1,350,000	900,000	600,000	750,000	450,000	450,000	4,500,000
支出	研究研修費	0	27,940	9,300	2,680	0	63,805	103,725
	調査旅費	1,341,000	872,060	0	731,482	179,308	386,195	3,510,045
	資料費	9,000	0	53,700	1,800	0	0	64,500
	事務費	0	0	34,349	5,344	0	0	39,693
	その他経費	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,350,000	900,000	97,349	741,306	179,308	450,000	3,717,963
残額（返還額）		0	0	502,651	8,694	270,692	0	782,037

【政務調査費使途基準】

項目	内容
研究研修費	会派が研究会及び研修会を開催するために必要な経費または会派に所属する議員が他の団体の開催する研究会及び研修会に参加するために要する経費（会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、茶菓代、交通費、旅費、宿泊費、器具借上料等）
調査旅費	会派が行う調査研究活動のために必要な先進地調査または現地調査に要する経費（交通費、旅費、宿泊費等）
資料費	会派が行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入及び印刷に要する経費（参考図書、新聞・雑誌、定期刊行物等の購入及び調査研究資料の印刷等）
事務費	会派の行う調査研究活動のために必要な消耗品の購入、通信等に要する経費（事務用消耗品の購入、郵便料等）
その他経費	上記以外の経費で会派の行う調査研究活動に必要な経費

議会人事

3つの特別委員会の設置が決定し、それぞれの委員が指名され、正副委員長が選任されました。

信濃川・清津川対策 特別委員会

▽信濃川・清津川に関する諸問題の調査研究と課題解決に当たります。

委員長 藤巻 誠
副委員長 仲嶋 英雄
委員 高橋 俊一

吉村 重敏
鈴木 和雄
宮沢 幸子
鈴木 一郎
太田 祐子

十日町・松代病院 特別委員会

▽県立十日町病院の早期完成と県立松代病院のあり方に関する調査研究と課題解決に当たります。

委員長 庭野 政義

副委員長 羽鳥 輝子
委員 大嶋 由紀子

村山 達也
小林 弘樹
安保 寿隆
庭野 茂美
小野嶋 哲雄

議会改革特別委員会

▽議会改革に関する諸課題について検討調査を行います。

委員長 飯塚 茂夫
副委員長 遠田 延雄
委員 福崎 哲也

小林 均
近藤 紀夫
小嶋 武夫
村山 邦一

議員報酬を減額

4%を9か月間

6月21日、平成25年第2回定例会最終日に、議員報酬を減額する条例案が議員発議で提出され、全員賛成で可決されました。これにより、本年7月から9か月間の報酬の4%相当分を、本年12月と来年6月の期末手当から減額することとなります。

その総額は284万6、880円となります。

国は、東日本大震災や地域の防災・経済活性化などに対応するため、平成24年度と25年度の2年間、国家公務員の給与を平均7・8%減額しており、地方自治体にも国と同様の対応を求めるとともに、地方の給与削減を前提とした地方交付税の減額を行いました。

十日町市は、地方交付税が減額されることにより、給与削減が行政サービスを削減するかの二者択一を迫られる中、職員の給与削減に踏み切り、十日町市の職員給与を本年7月から来年3月までの9か月間、平均で3・83%減額することになりました。

十日町市議会は、これまでも、平成22年から24年までの3年間、震災復興の財源とするために減額を行ってきましたが、地方の自主性を損なうような今回の一方的な交付税減額措置は容認できないとしながらも、十日町市も長野県北部地震の被災地であり、東日本大震災と一体的に復興事業が実施されていること、また、行政サービスへの影響を懸念し職員と同様の減額を実施することにしました。

議会傍聴

久保田 陽一さん

(小千谷市議会議員 41歳)

4月に行われた市議会議員選挙にて同世代の新人候補が当選したこともあり、今回初めて一般質問を傍聴させていただきました。お隣とはいえ地域が変われば自治体の抱える課題や問題は違い、議場の作りや雰囲気、行政の対応の違いなど、参考になることも多々あり、とても勉強になりました。

今後も十日町市議会から刺激を受けながら、お互いの地域が発展するよう、自己研さん・議員力向上のために議会傍聴を重ねていくつもりです。

傍聴においで ください

次の、9月定例会は9月初旬に予定しています。
詳しくは議会事務局へ
ご照会ください。

あとがき

市民に分かりやすい開かれた市議会をと長年言われ続けながら、改選なった市議会に対して、市民の評価は厳しいものがあるように思います。

再選され、また新たに負託を受けたそれぞれの議員たちも、自分たちなりの最善の議員活動を務めているつもりですが、スキャンダルから結果的にわかりにくいと思われる部分が出てきているかもしれません。

議会は、市民生活を守るため、地域と行政が一体となったまちづくりを推進するためにこそあるものです。しかし、議会が市民の皆さまに支えられていることも事実です。

議会の空回りや硬直化を防ぐためには、議員一人一人が真剣に汗をかき、研さんと精進に努めることはもちろん、市民の皆さまから議会に関心を寄せていただかなければなりません。

こうして、議会だよりのあとがきにまで目を通していただける皆さまこそが、市政の主人公であることを忘れずに、編集委員を務めさせていただきます。

(高橋 俊一)